

いま身近な川の自然と、体験活動を考える

つながる命の環 遊んで、感じて、いきいき育つ



札幌の住宅地を流れる川のほとんどは人工的に改変され、そこで遊ぶ子供の姿も見かけなくなってしまうています。子供の頃、遊び、生き物を追いかけてワクワクし、危険を感じると感性を磨いてくれた川はもう、深い奥山にしか残っていないのでしょうか？そんなことはありません。手稲山から流れる川での、地域に住む親子との体験活動を通して、意外と多くの生き物が生息し、森と海を結ぶ生命の回廊として豊かさを維持していることがわかりました。

身近に残された自然と、その自然に触れる活動について考えてみませんか？

講演：周辺の森林とつながる河川の生態系、その復元技術について

柳井 清治（北海道工業大学環境デザイン学科教授）

<http://www.hit.ac.jp/~yanai/>

活動報告：身近な川での親子参加の生きもの探しの活動

大塚 武（北海道工業大学大学院・手稲さと川探検隊スタッフ）



話し手：柳井 清治 先生

森林と河川の生態系構造とその相互作用、および悪化した河川生態系をどのように復元するかに関して、生態学的な観点からの技術開発や、森から川、そして海までの物質の流れや、サケの遡上に見られる海から陸への物質の流れについて研究に取り組む。一方学生に対しては「あれこれと悩む前にまず体を動かすこと、そして五感を研ぎ澄まして自然と向き合う、そんなフィールド（現場）主義を鍛えるべし」と指導。広島県出身。



報告者：大塚 武

2005年北海道工業大学工学部環境デザイン学科を卒業後進学。同大学院今春卒業予定。子供のころから自然が好きで、おもに自宅から自転車で行ける豊平川を遊びのフィールドとしていた。大学入学してすぐに環境教育に出会い、それと同時に川の魅力にはまっていく。近い将来、環境教育を生業にしたいと考えている。1983年札幌市生まれ。



日時：2007年3月22日（木） 18:00開場、18:30～21:00

場所：札幌市生涯学習センター **ちえりあ** 3F 中研修室

（札幌市西区宮の沢1条1丁目 地下鉄東西線宮の沢駅直結）

主催：手稲さと川探検隊

申し込み：3月21日（水・祝）までに、FAX・メールまたは電話で

定員50名になり次第、締め切りとさせていただきます。

参加費：ひとり 300円

このままFAXして下さい

FAX：684-4487

名前	所属	住所	連絡先電話など

問い合わせ：手稲さと川探検隊 鈴木 玲

電話：080-1891-7847

E-mail aasuzuki@pop11.odn.ne.jp

ホームページ：<http://t-satogawa.hp.infoseek.co.jp/>（手稲さと川探検隊）